

平成 2 9 年 第 3 回定例会

(9 月 2 5 日)

一 般 質 問 資 料

(1 回 目)

自由民主党無所属
向 後 保 雄

平成29年 第3回定例会（9月25日）

一括質問

通告時間：20分

自由民主党千葉進取の会の向後保雄でございます。

皆さんも、週末には様々なイベントに参加されていると思いますが、昨日、観光協会の前会長の安田敬一さんが実行委員長を務める房総渡海プロジェクト実行委員会主催による房総渡海プロジェクト報告会が千葉みなと旅客船棧橋前の広場で、実施されました。これは石橋山の戦いに敗れた源頼朝が真鶴から千葉の上総の国に逃れてきて到着した場所には諸説がありますが、これを実証実験によって検証しようという試みでありまして、手作り甲冑隊や馬術協会等様々な団体や個人のご協力を得て盛大に開催されました。

また、本年は、ベイサイドジャズ20周年の記念すべき年であります。第1回定例会での議場コンサートを皮切りに、様々なイベントが開催されております。先日23日には市民会館大ホールにおいてスペシャルゲストに八代亜紀さんを招いて20周年記念コンサートが盛大に開催されたところであります。そして本日から4日間ジャズウィークということで18時から19時半まで

JR千葉駅みどりの窓口を出て西口へ向かうウッドデッ

キにおいて、プロのジャズミュージシャンによる演奏が無料で聞くことができますので、多くの市民の皆さんにお集まりいただきたいと思います。特に、28日の木曜日には市役所近くの NHK の一階ホールにおいて大原保人さんのスーパージョズトリオの演奏が午後2時半より予定されておりますので、29日の前夜祭、30日のジャズストリートと千葉の中心市街地がジャズ一色になり、20周年イベントが最大の盛り上がりを見せることを期待して、通告に従いまして私の一般質問に入らせていただきます。

1 中央区役所の移転と千葉市美術館の今後について

はじめに、中央区役所の移転についてです。すでに第2回定例会において山本議員が市長マニフェストの中にあるということで、一般質問を致しました。その答弁では、詳細についてはこれからとのことでしたが、今回議案として挙がり、先日の私の議案質疑でも答弁をいただいておりますが、環境経済委員会に所属しておりませんから十分質問もできませんでしたので、以上の理由から、15日には既に議案に対して賛成しておりますが、視点を変えていくつか質問をしたいと思っております。

まずは1点目ですが、現在、ビジネス支援センターの15階には市民が、有料で会議室を利用することが出来る仕組みになっており様々な市民が利用しており、便利に活用されていると聞いておりますが、産業振興財団の移転後は11階から15階までの中央区役所、中央保健福祉センター、社会福祉協議会の中にそのような市民が有料で借りられる会議スペースは設けられるのか伺います。

2点目として、議案質疑における答弁では、現在のきばーる駐車場の共用駐車場の供給台数を増やすようきばーる管理組合と協議をするとの答弁をいただきましたが、現在何台の駐車スペースがありさらに何台増える予定なのか伺います。

3点目に、議案質疑において、きぼーるは当初から駐車場からのアクセスが悪く大変な不便をしておりますが、この機会に解消されるのかとの問いに対して、駐車場棟と本棟が3階と6階でつながっているが、セキュリティー等に問題があるため、これまでは車いす利用者等に限って職員及び業者専用エレベーターの利用を認めていたとのご答弁をいただいております。そこで、セキュリティー等に課題があるとはどういうことなのか、そして利用者の拡大について、きぼーる管理組合と協議をするとのことでしたが、その具体的な対応策はどうするのか伺います。

4点目は、千葉市美術館の今後についてですが、議案質疑において千葉市美術館の今後の在り方についてどのように差別化を目指すのかとの問いに対して、全国的にも評価されるコレクションとなっている「千葉市を中心とした房総ゆかりの作家及び作品」「日本文化の核を形成する近代以降の美術品」「現代美術」を収集した所蔵作品を常設展示することにより国内外から更に広く認知してもらおうとともに、鑑賞だけでなく体験・交流を加えることで、文化の担い手を育成する環境を醸成するとし、これらを特色とする、との答弁でした。答弁内容については、公立美術館は、そもそも地域社会との繋がりの中で成り立ってゆくべきものの観点から理解できますし、さらに言えば、その町の文化そのものであり、町づくりや町おこしにもそれな

りの役割を果たすもので、公立美術館をどのように方向付けすべきかは市民参加或いは市民協働によって進んでいかなければならないと考えます。そこで伺いますがこれから目指すべき千葉市美術館の方向性について市民の意見は聞いたのか伺います。

2 低層建築物の消防職団員の火災訓練と消防団員の増強について

次に低層建築物の消防職団員の火災訓練と消防団員の増強についてですが、初めに、現在消防局には、968名の職員が在籍しており、そのうち市内6区の各消防署出張所等に勤務する職員は750名程と聞いておりますが、すでに数年前より消防職員の定年による大量退職が始まっており、今後も予定されていると聞きましたが、向こう5年間の定年退職職員の状況と退職職員を補充する新規採用予定職員数について伺います。

二つ目に、今後職員の大量退職とこれに伴う新規採用職員の大幅な増加により、専門的知識や経験を積んだベテラン職員の大幅な減少や経験の浅い若年職員の急速な増加により災害対応能力の不足が懸念されるところであります。一方、常備消防の機能不能が心配される大規模災害時において、消防団員の火災消火活動が大いに期待される所ですが、消防団員の火災消火訓練は、現在消防学校における訓練棟10階及び6階相当の既設建物で行っているのが現状であり、現実的ではありません。

このような状況下で、消防局に聞くとところによれば平成27年3月に「消防学校の施設、人員及び運営の基準」が一部改正され、備えるべき校舎等の設備に「実

践的訓練施設」が追加されるとともに同じく平成27年3月の「消防学校における教育訓練に関する検討会報告書」にも必要性が高い実践的な訓練施設の中に、模擬火災訓練家屋が挙げられております。

更に、平成29年4月に、消防庁消防・救急課より、「消防学校における実践的訓練施設の整備の推進について」の文書が発出されております。

そこで近い将来大規模災害発生が高い確率で予想される中、消防職団員の実践的な訓練に資する「模擬火災訓練家屋」取得が必要不可欠と考えますが、当局の見解を伺います。

三つ目に、先般、先月だったと思いますが、千葉日報紙上において、総務省消防庁は4月1日時点の全国の消防団員数が85万418人で前年同時期から5,860人減少し、過去最少を更新したと発表しました。千葉県では、前年比272人減の25,884人で、26,000人を割り込み過去最少となりました。千葉市は前年比20人減の754人で条例定数840人に対し86人減となっております。

一方、芝山町は任務を限定して負担を少なくした「機能別団員」などの取り組みで61人増と大幅増員となったとのこと。

消防団は、生業を持ちながら火災等の災害発生時において、市民の生命財産を守るべく日頃より、前段でもお話ししました通り、訓練を実施し、有事に備えて

いる現状の中で、団員の条例定数840人達成を目指しているところです。私も団員の一人として、さらなる団員増強に向けて、元気な高齢者の活躍を促してはどうか等様々な意見を交わしながら、あらゆる機会をとらえて団員募集活動をしたり、メディア等も利用して消防団募集の広報活動を強化し、様々活動しているところです。そこで、過去5年間の消防団員の退団者の動向と先月8月で新規入団団員を集計していると思いますので、現在の消防団員数について伺います。さらに消防団員の増強に向けて当局として、今後どのような方策を講じて行くのか伺います。

以上で、一回目を終わります。ご答弁宜しくお願いいたします。